11月・12月の まちのわだい

12月4日 認定こども園 発表会

▲12月５日、消防署トレーニングルームで、トレーニング機器の講習会が開催されました。

＼特集／

上士幌高校「上士幌学」

上士幌学の集大成として、12月9日（木）に「上士幌学活動報告会」が生涯学習センターわっかにて行われました。

上士幌学とは、町の自然や歴史、特産品などについて体験的に学び、地域を知る取り組みです。4月から学んだことを生徒たちがまとめ、実際に町の事業所や町民の方から教わったことを紹介しました。

また、上士幌学以外の3年生の選択科目「音楽表現」「ライフデザイン」「科学と人間生活」「実践英語」「生涯スポーツ」「探求数学」「政治経済」を受講している生徒の発表も行われました。

上士幌学とは？

平成26年に上士幌高校がユネスコスクールに認定されたことから、持続可能な開発のための教育を推進する一環として、地域を理解する教育が実施されています。

現在上士幌高校では、町の自然や歴史、特産品などについて学び、地域を知る取り組みを行っています。

いざというときに備えて

11/18 商工会女性部救急救命講習

商工会女性部主催の救急救命講習が開催され、８名が救急救命について学びました。

始めに消防職員からスライドで説明があった後、参加者は３グループに分かれ、女性消防団員から心肺蘇生や、AEDの使用方法について説明を受け、実際に実技を行いました。

商工会女性部森岡部長は「話を聞くのと、実際にやってみるのは全然違う。心肺蘇生の押す力や、リズムが難しかった」と話しました。

災害発生時の大きな助けに

11/19 小寺建設災害対策車両寄付

小寺建設株式会社様から災害時に電源供給が可能な三菱アウトランダーPHEVをご寄付いただきました。

この車両は災害時の大規模停電などの際に、スマートフォン100台以上の同時充電が可能です。

小寺社長は「災害は起きてほしくないものだが、いつどこで起こるかわからない。この車の機能を発揮することで一助となれば」とお話しいただき、竹中町長は「移動するエネルギーは災害時に大きな役割を果たす。非常にありがたい」と話しました。

作物を通して子どもたちと交流

11/24 JA青年部じゃがいも寄付

JA青年部畑作部会様からジャガイモ約100kgを寄付いただきました。今回ご寄付いただいたジャガイモは、12月１日から学校給食でキーマカレーなどで提供されています。

JA青年部畑作部会長の佐藤さんは「作物を通して子どもたちと交流をしていけたら」と話し、小堀教育長は「現在食育に力を入れている。こうした機会に生産している方を知ってもらい、残食の減少につながれば」と話しました。

４月からの活動の成果を報告

12/3 上高マッチング報告会

４月から町内の事業者の方と共同で進め、11月に道の駅で販売会を実施した「上高マッチング」の報告会が行われました。

この取り組みは選択授業「ライフデザイン」を受講している生徒が４グループに分かれ、町内事業者とコラボレーションした商品を道の駅で販売しました。

12月３日に行われた報告会では事業に携わった事業者の方などに対し、今回の授業で学んだことや、コラボ商品開発の際の工夫などを発表しました。

大会上位入賞を目指して

12/6 北澤さん全国大会出場

12月10日から神奈川県で開催されるJOCジュニアオリンピックカップに出場する北澤星來さんが町長を訪問しました。北澤さんは今大会は年齢別部門10歳以下の部に出場します。

北澤さんは「簡単な技をきれいに決めて、３位以上を目指したい」と大会への意気込みを語りました。

竹中町長からは「北海道の代表として頑張ってほしい。これまで沢山練習を頑張ってきたと思うので、その成果を発揮してほしい」と激励しました。

交通事故ゼロの社会を目指して

12/6 交通事故死ゼロ3000日達成

12月２日に交通事故死ゼロ3000日を達成し、町に北海道知事感謝状、上士幌町生活安全推進協議会に北海道交通安全推進委員会表彰が伝達されました。

平成25年９月15日からスタートし、現在も町内での交通事故死ゼロを継続しています。

竹中町長は「町民の皆さま一人ひとりの交通安全の意識があってこその記録。これからも3500日、4000日と記録を目指していただきたい」と話しました。

長年本町の福祉向上に貢献

12/10 永年勤続表彰受賞

長年本町の民生委員・児童委員として地域の福祉向上のために尽力された、馬場美子さん、齋藤美惠子さん、長屋晴夫さんの３名が「永年勤続民生委員・児童委員表彰」を受賞されました。この表彰は民生委員・児童委員として通算10年以上勤められた方に贈られます。

当日は、上士幌町民生委員児童委員協議会田中松雄会長から表彰状が伝達されました。

役場の新人紹介（地域おこし協力隊員）

◆名　前：伊藤　あかり（24歳）
◆職　種：幼児教育支援推進員（幼児教育課）
◆出身地：千葉県千葉市

初めまして。私はMYMICHIプロジェクトで１か月間滞在し、上士幌町の大ファンになり移住を決めました。子どもたちと地域を繋げられるよう、全力を尽くします。よろしくお願い致します。

ふるさと納税を活用!
かみしほろのびのびキッズ

小学１年生から３年生を対象にした運動教室「のびのびキッズ」が実施されました。この事業は、体操教室などを中心に活動を行っているちくだいKIPの方を講師にお招きし、今年の５月から10月まで全24回、マット運動や走る、投げるなどさまざまな運動競技を行い、運動能力の向上を目指すものです。

この事業は全国の皆さまから頂いたふるさと納税寄附金を財源に活用して実施されています。

地域を変えていく新しい力

地域おこし協力隊活動報告

TITLE：朝日に照らされる山並みを眺めるのが毎日の楽しみです　　記：特産品開発推進員　中村　旭

こんにちは。今年の４月から地域おこし協力隊として食品加工センターで働いている中村と申します。大学進学を機に、生まれ育った福岡を離れて徐々に北上し、とうとうここ上士幌町までやってきました。四季折々の自然と温泉を十二分に楽しみながら生活しています。疫病が蔓延する中、外部の人間を受け入れてくれたこの町にとても感謝しています。

私の普段の業務は自家消費用食品加工の製造の補助がメインです。初めて施設を利用する方に対して、レシピを提供したり機械の使い方をレクチャーしたり、人数が少ない利用者様と一緒に作業することもあります。衛生管理を中心に、地域の皆さんが安全安心に製造ができるようサポートしています。また、特産品開発の推進として、町内事業者様の商品開発のお手伝いもさせて頂いており、当施設を利用した商品開発を検討する方が徐々に増えていることをありがたく感じています。

当施設では、町民の自家消費用加工と町民の営業利用を対象にさまざまな食品加工を行うことができ、年間４回程度の町民向け研修会も実施しています。研修会では参加者同士、初対面の方も多く、研修会を通じて意気投合し施設を利用してくださることもあります。春になればまた研修会が実施されますので、どうぞお誘いあわせの上ご参加ください。

みんなで取り組むSDGs 持続可能な開発目標

今日からできる！世界を変える一人ひとりの取り組み特集

上士幌町では、これまで行ってきた取り組みをさらに深化させることで、まちの価値を高めていこうと、SDGsの視点を取り入れたまちづくりを積極的に進めています。

SDGsの達成に向けては、国や自治体、企業、団体だけでなく、誰より私たち一人ひとりの取り組みが重要になります。そのため、町民の皆さまにSDGsを身近に感じていただけるよう、私たちが日常生活においてできる取り組みを紹介しています。できることからSDGsに取り組んでみませんか。

14 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

現状と達成すべき課題

海は「生命の源」です。しかし、人間が出す大量のごみや排水などにより、海は汚染されています。特に、プラスチックごみが海洋に流れこむと徐々に粉砕されてマイクロプラスチックとなり、海洋生物の命を脅かします。また、乱獲により、漁獲量も減りつつあります。こうした海の異変は、いずれ人間の生活にも悪影響を及ぼします。

そのため、本目標では、海洋汚染及び海洋の酸性化を防止するとともに、漁獲を効果的に規制するなど、海洋と海洋資源を守ることを目指しています。

私たちにできること

- プラスチック製品をなるべく使わないようにする
- 海や川に行ったら、ごみは持ち帰る
- 海や川の清掃活動に参加する
- 生活排水を適切に処理する
- MSC及びASC認証のついたサステナブル・シーフードを選ぶ　等

【MSC認証】水産資源や環境に配慮した漁業で獲られた天然の水産物

【ASC認証】環境と社会への影響を最小限にして育てられた養殖の水産物

15 陸の豊かさも守ろう

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地の劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

現状と達成すべき課題

私たちの暮らしは、山地、森林、川、湖などの自然と、そこで生きる多くの生物に支えられています。人間が必要とする食料や空気、水、ものづくりに使う材料なども、豊かな陸があるから得られるものです。地球上の陸地の約３分の１は森林ですが、人間の活動や気候変動により、毎年1,300万haの森林が失われ、36億haの土地が砂漠化しています。また、自然が失われることで、多くの生き物が絶滅の危機にあります。

そのため、本目標では、これからも恩恵が受けられるよう、森林を守り、再生するとともに、生物多様性の損失に歯止めをかけるなど、陸の豊かさを守ることを目指しています。

私たちにできること

- 植林活動や生き物調査などに参加する
- 絶滅の危機に瀕している生き物を調べる
- 登山等では、携帯用トイレを活用する
- レジャーでは、ごみを持ち帰る
- 飼えなくなったペットや昆虫を野山に捨てない
- FSC認証のついている製品を選ぶ　等

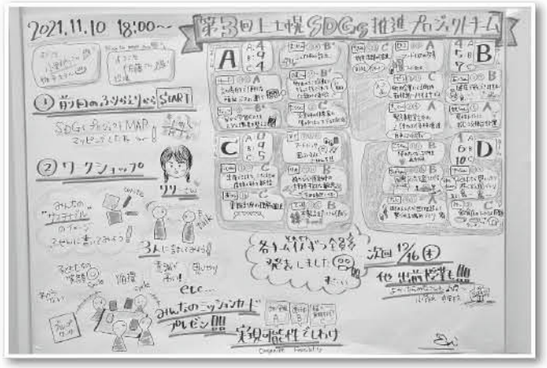
【FSC認証】森林環境や地域社会に配慮し、持続可能な生産方法で作られた木材

若者×多様性×ジェンダー平等

上士幌町SDGs推進プロジェクトチーム活動報告

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第３回プロジェクトチームを11月10日に開催し、上士幌町オリジナルSDGsボードゲームの制作に向けて、メンバーそれぞれが考えた上士幌町の課題やそれに伴う解決策を紹介しながら、将来における実現可能性などについて議論しました。



SDGs出前授業がスタート！

さまざまな課題を自分ごととして考え、自らが率先してSDGsの達成に向けて行動できるよう、11月25日からSDGs出前授業をスタートしました。

上士幌小学校では、小学５年生を対象に年間30時間程度の授業時間を確保したほか、今後は、こども園や中学校、企業・団体などにおいても順次開催していく予定としています。

「あぐり王国北海道NEXT」で上士幌町が紹介されました！

HBC北海道放送「あぐり王国北海道NEXT」において、農業現場のSDGsとして、上士幌町の循環型農業などの取り組みが紹介されました。

SDGsの取り組みを紹介する動画が完成しました！

現在上士幌町が行っているSDGsの取り組みを紹介する動画を制作しました。町ホームページほか、右のQRコードからもご覧いただけます。

令和3年度 「上高たより」

上士幌高校です！

文責：教頭

No. 45
令和 3 年
12月25日

TITLE：小学生と高校生が「ボッチャ」で交流しました

11月９日（火）上士幌小学校において、小学５年生と６年生を対象に、本校の「生涯スポーツ」を選択している３年生12名と授業交流を行いました。テニスボール大のボールを積んでいく「ボッチャ」というゲームを紹介し、小学生が実際に体験するという授業でありましたが、予想以上に大きな盛り上がりを見せておりました。クラスによっては教員もゲームに入って一投毎に笑いや驚きの渦に包まれていたり、絶妙な投球を披露する小学生もいたり、和やかで温かい雰囲気に包まれた授業交流となりました。また、高校生の中にはインストラクターのように上手に子どもたちに説明、指導をする生徒もおり、普段では見ることが出来ない素晴らしい一面も発見する良い機会となりました。

△小学生を前に緊張の面持ちです

△競技の説明をしているところです

△ただいま競技中

上士幌高校新聞局通信
月刊 上高

授業以外にも大切なことを学びました

文責 大川 暖人

10月以降に大切な講話が３つありました。まず10月29日にsakura代表の高田めぐみさんを講師にお招きし「生と性の講話」が行われました。この講話では異性との関わり方や、交際する際に気をつけなければならないことについてお話しいただきました。11月15日にはおびひろ自動車学校の先生方を講師に「交通安全講話」が行われ、自転車の交通ルールや交通法規について学びました。交通ルールなどを学び、自分の自転車の乗り方を見直すいい機会となりました。12月８日には帯広警察署の佐藤光晴さんをお招きし「防犯講話」が行われました。不審者などに腕を腕をつかまれたり、後ろから押さえられた時などの対処法を教えていただきました。実際に生徒同士で実践する時間もあり、とてもいい体験になりました。

△最後に生徒会長がお礼を述べました

△画面で突然トラックが曲がってきたりします

△実技の練習をしているところです

Kamishihoro High school

町民文芸

短歌

恐るおそる膝にあがりてきし猫の体温やはらに伝はりてきし　本間栞風

「若さとは！成熟するもの」と言う翁稀に合点のことばを発す　尾野よし乃

寅年はがおーっとひと吠え吹き飛ばせコロナが早く落ち着くように　中濱夏希

山の神まつりし社（やしろ）に集まりて祈りをささぐ働きし頃に　鈴木豊

愛子さま晴れて大人の仲間入りドレス姿は人形の如し　米森真弓

年末の宝くじを買う夢のあり当たれば通帳に入れるだけでも　高橋博和

年末の食事会を楽しみに今日も励みて清掃をする　高木誠也

清掃の仕事を今日も励みたり階段と床と順序正しく　小松義実

年賀状図案を考え悩みつつ製作するのが醍醐味になり　松田理恵

シルバー学や体操塾に加はるも老ひの一手とけふも出でゆく　石川裕子

編集後記

➲ 広報誌は発行配布の10日ほど前に入稿しています。実は12月15日にとても有名な方が上士幌町にやってきました。しかし残念ながら紙面が完成し、翌日が入稿だったため来月号に持ち越しとなってしまいました。来月号に掲載予定ですので、誰なのか予想しながらお待ちください。ヒントは「捻り」です…Y

➲ 誌面にもありますとおり、今年はウィンターバルーンミーティングが開催されますこれまで大型のイベントはどうしても自粛されがちでしたが、いよいよここまできました。今回は熱気球の体験搭乗は道の駅、競技関係は航空公園と、分散して実施するようです。真冬の澄んだ空にたくさんの熱気球が飛ぶ姿は、これぞ「上士幌」という気がします（個人の感想です）。お楽しみに！…T

広報かみしほろ 2月号は1月25日（火） 発行予定

戸籍の窓口

令和３年 11 月末現在の 人口

男　性	2,423人（-6人）
女　性	2,517人（-8人）
人　口	4,940人（-14人）
世帯数	2,592世帯（-15世帯）

令和 3 年度 ふるさと納税寄付金

11 月分	9,502 件 151,381,000 円
累計	44,742 件 682,423,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※ 12月10日現在